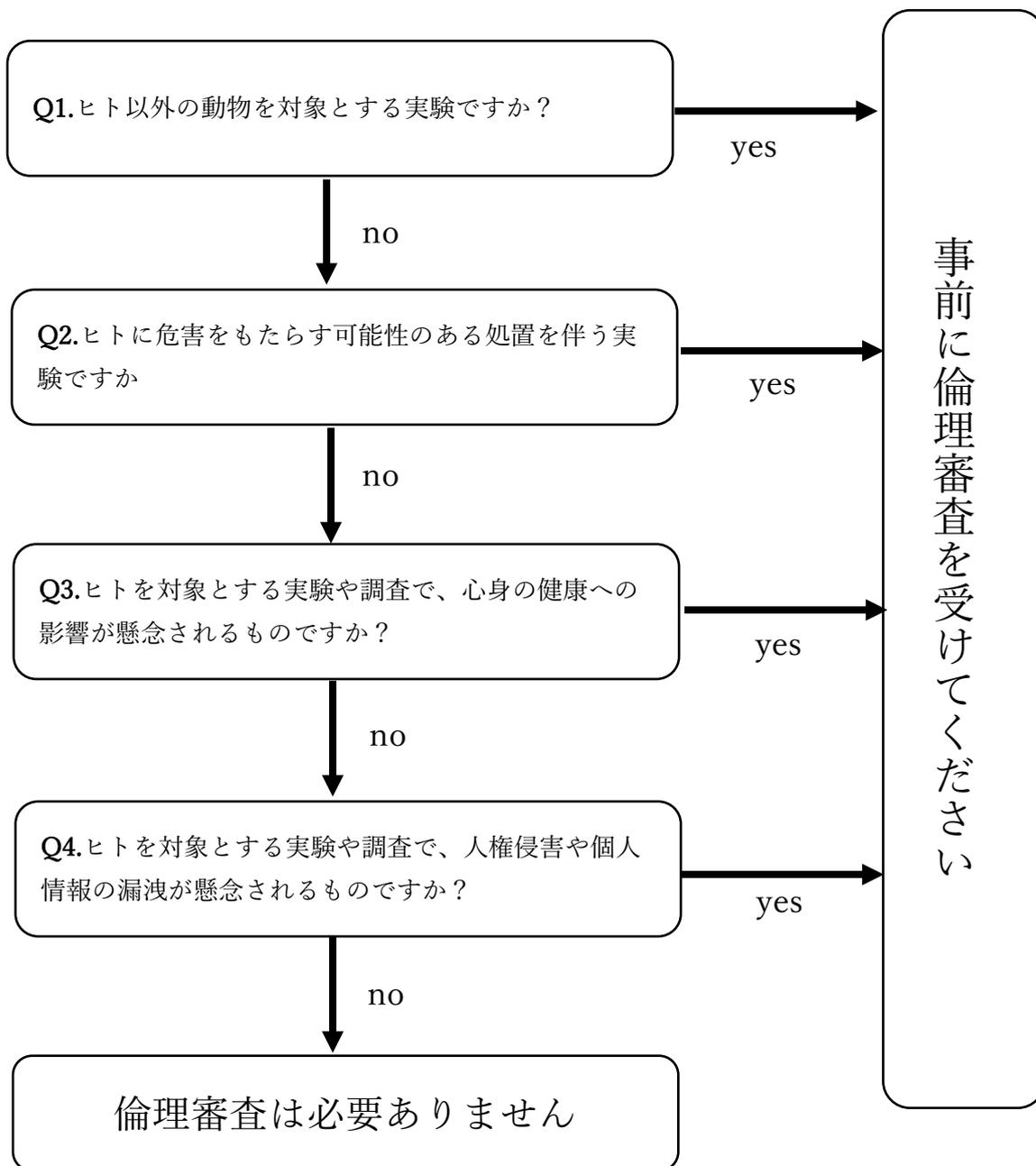


実験・調査に関する倫理審査の要/不要チェック・フローチャート

本学の教員および学生が「公立ほこだて未来大学各種実験等に係る指針」に従い、安全でかつ人権に配慮した実験・調査を実施するために、事前に倫理審査が必要であるか否かを以下のフローチャートに従って自己診断をお願いします（次ページの内容もご覧ください）。

氏名 _____ 学籍番号 _____ 記入日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

課題名（指導教員名） _____



注 1) フローチャート記入後は、倫理審査の要/不要にかかわらず、教員が当該の課題の
関係資料と共に保管し（5年間）、必要に応じて提出できるように管理してください。

注 2) Q1-Q4 への回答の際、下記の「自己診断補助用チェック項目」に該当する場合は□
にチェックを入れてください。1つでもチェックしていない項目がある場合、対応する
Q1-Q4 への回答では yes に丸を付けてください。それ以外の場合は、Q1-Q4 それぞ
れについて no に丸を付けてください。

注 3) また、「自己診断補助用チェック項目」に該当する項目がない場合でも、Q1-Q4 の
いずれかに該当することが懸念される場合は yes に丸を付けてください。

注 4) Q1-Q4 への回答の1つでも yes となる場合は、所定の様式により、教員が代表して
倫理委員会 ML(ethic-ml@fun.ac.jp)まで倫理審査の申請をお願いします。

自己診断補助用チェック項目

Q1. ヒト以外の動物を対象とする実験ですか？

- ヒト以外の動物（哺乳類、鳥類、爬虫類）、病原体、遺伝子操作等を扱ったりしない

Q2. ヒトに危害をもたらす可能性のある処置を伴う実験ですか？

- ヒトに対して日常生活では生じえない水準の放射線や電磁波、電流等を浴びせない
- ヒトを身体的に拘束したり、施設・装置内に隔離したりしない
- 薬物や器具等をヒトの体内に挿入したり、血液や細胞等を採取したりしない
- 環境面、衛生面での汚染が懸念されたり、有害な物質を発生させたり、騒音・振動・打撃・圧力等の物理刺激により身体や構造物に損傷をもたらしたりする懸念はない

Q3. ヒトを対象とする実験や調査で、心身の健康への影響が懸念されるものですか？

- 映像・画像・音声等の刺激の提示により、身体的・精神的に不快感が生じる懸念はない
- 身体表面に何らかの器具や装置を装着することで日常生活場面では通常発生しえない状況・状態が生じ、そのため身体に危害が及んだり、身体的・精神的に不快な状態が生じたりする懸念はない

Q4. ヒトを対象とする実験や調査で、人権侵害や個人情報の漏洩が懸念されるものですか？

- 対象者に参加への同意を取らなかったり、虚偽の説明を行ったりしない
- 対象者に理由を問わずいつでも実験・調査から退出する権利を認めている
- 個人の政治・宗教上の信念・信条、家族関係、所得状況等を聞き出したりしない
- 許可なく対象者からデータを取得したり、不快感を生じる設問を行ったりしない
- 公表されるデータや論文・報告書等から個人が特定できない
- 取得したデータを当初の目的や被験者が同意した範囲を超えた用途に使用しない